

第9回認知症医療介護推進フォーラム 2022/2/20

多様な通いの場とは～その意義と効果

東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム
東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター 藤原佳典

本日の話題



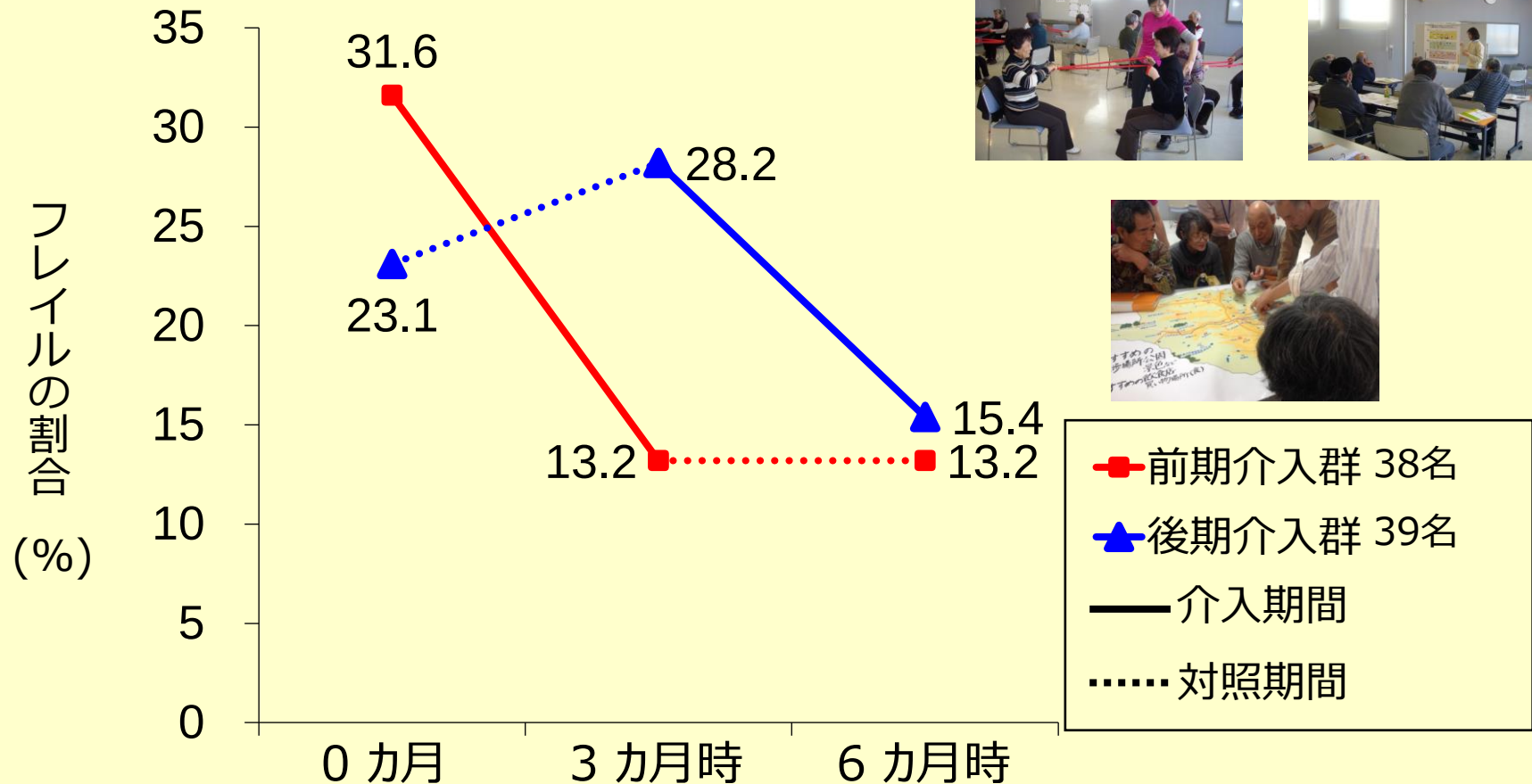
- 教室型予防プログラムの効果と限界
- 「通いの場」社会参加型プログラムへのシフト
- 多様な通いの場とは



教室型予防複合プログラムの短期的効果

- 週2回の複合プログラムを3カ月間実践
- 60分の運動と30分の栄養または心理・社会プログラム
(栄養、心理・社会プログラムは隔回実施)

Seino, et al., Geriatr Gerontol Int 2017.



レジスタンス運動・栄養・社会プログラムから成る複合介入によって、
フレイルの割合が有意に減少した。

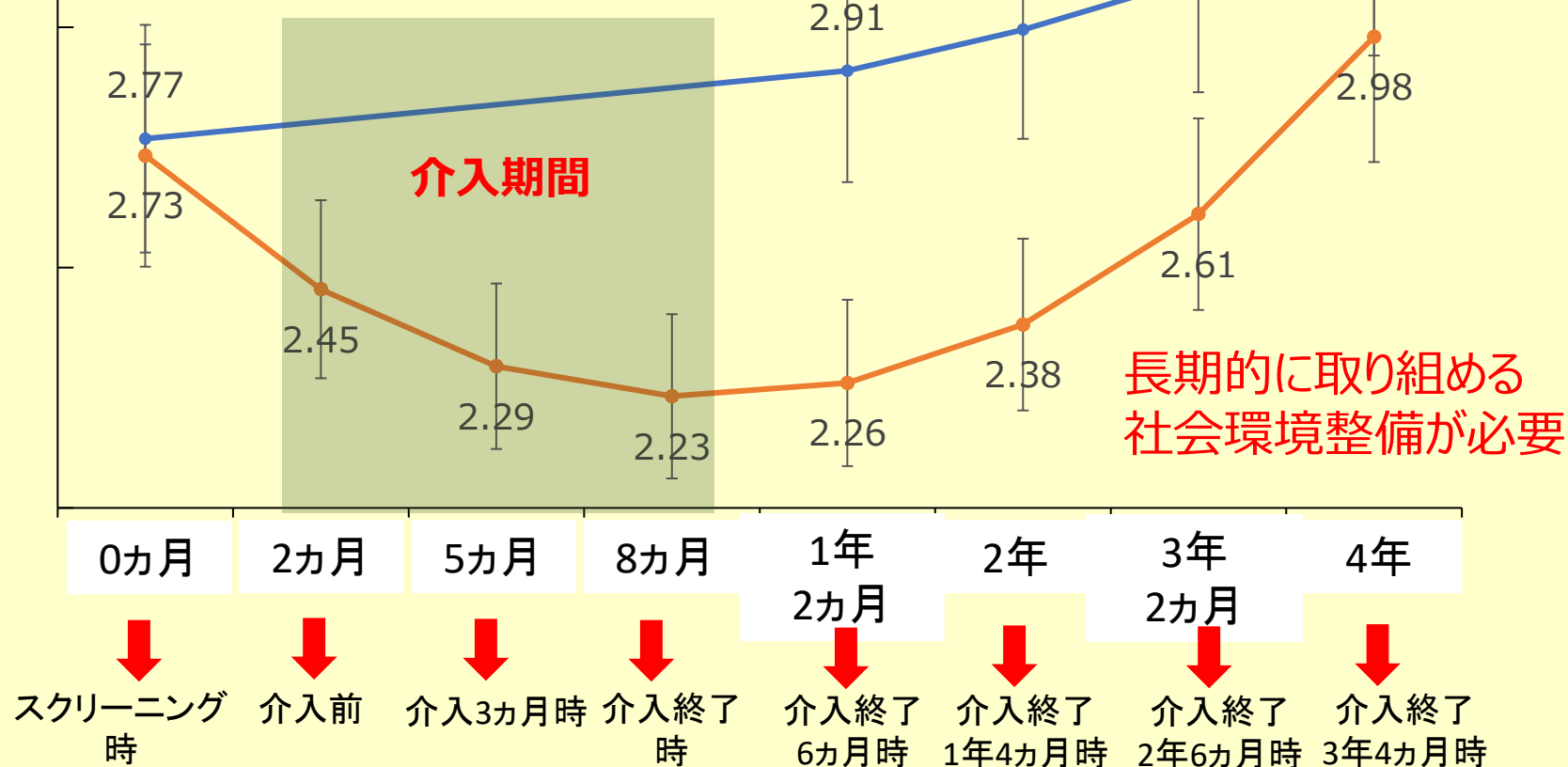
教室型予防プログラムの限界～長期的効果の推移

CL15得点

清野ら, 日本老年医学会, 2018

● 対照群 ● 介入群

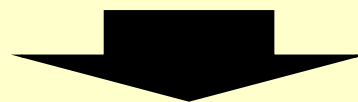
同一コホート（教室に参加していない集団）から、
介入群と同じ背景要因の者を傾向スコア法によって
マッチング



一般介護予防は、**通いの場(社会参加型)**へシフト

従前の介護予防(ハイリスクアプローチ)

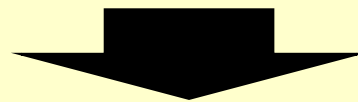
行政が**提供者**・住民が**受給者**



平成26年 これからの介護予防(ポピュレーションアプローチ)

地域づくりによる
介護予防

住民が**運営者**・行政が**支援者**



令和元年

厚労省一般介護
予防検討会指針

通いの場の**多様性・機能強化**
事業の**PDCA**

継続参加できる拠点を徒歩圏域につくる！中山間モデル 「通いの場」への参加が要介護認定に及ぼす影響

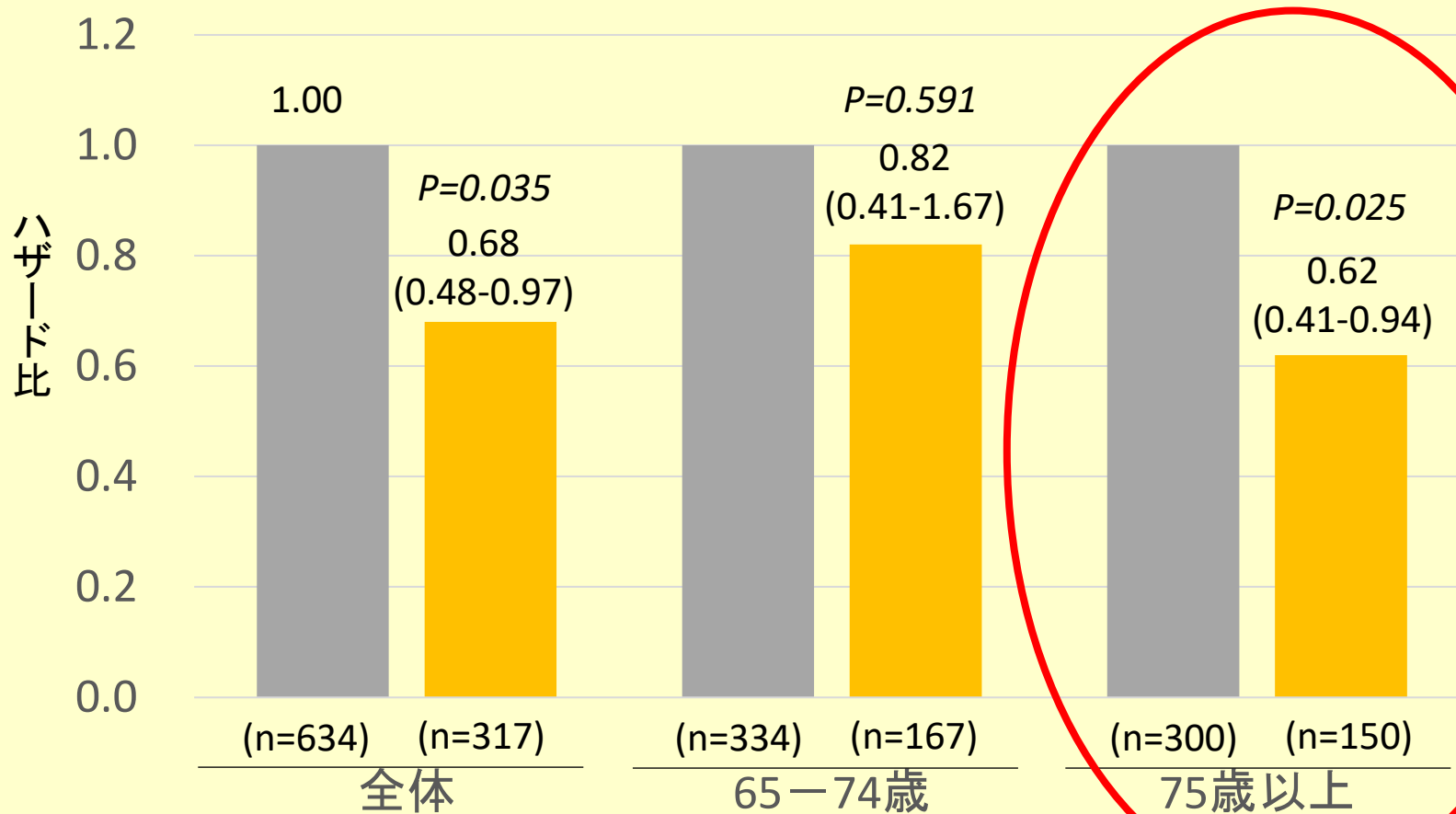
研修を受けた**シルバー人材センターの会員**が仕事として
各地区に出張し、**フレイル予防の通いの場を運営**※
(※シルバーは場の立ち上げを支援、一定期間終了後は地区住民で自主運営)





「笑い与健康お届け隊」による通いの場の 介護予防効果

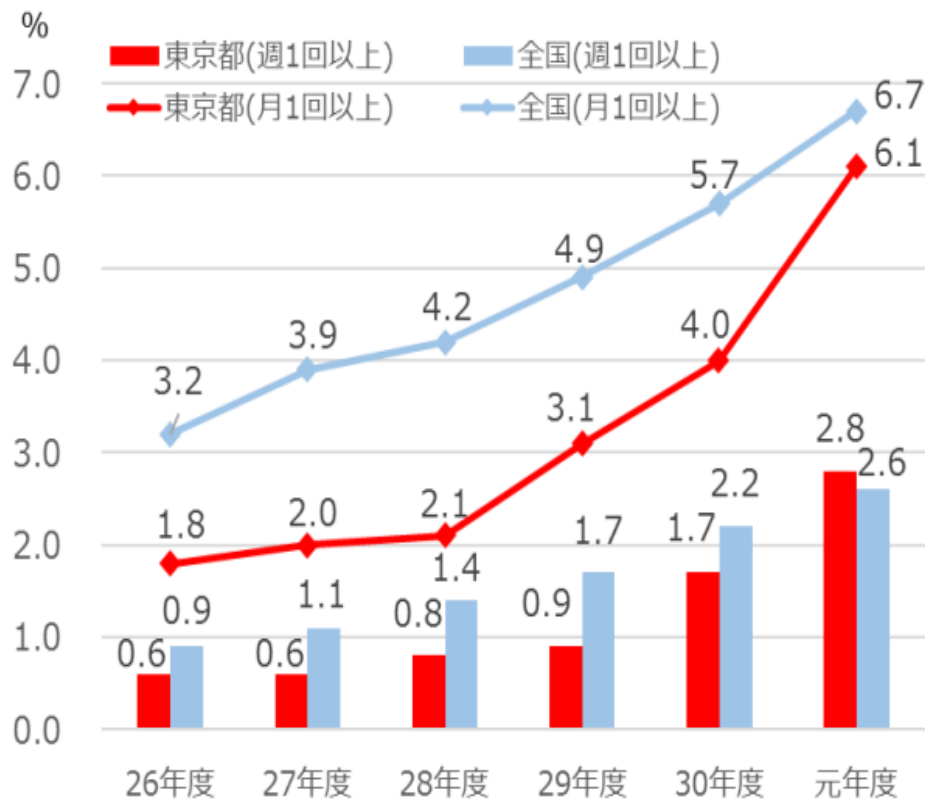
■ 非参加群 ■ 参加群



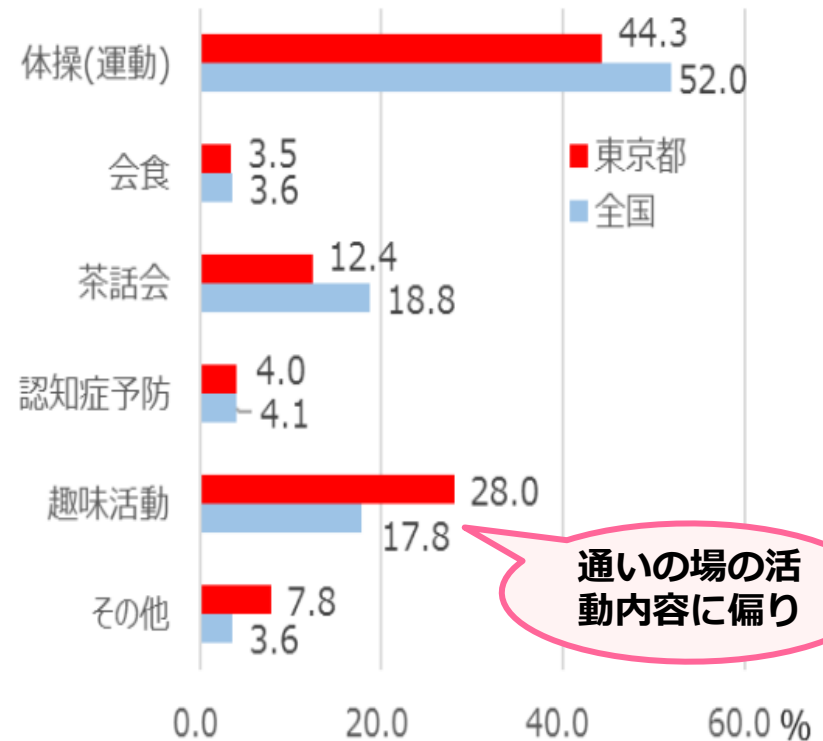
興味・関心を持てる、多様な通いの場が必要

①国や東京都の動向

通いの場への参加率
(月1回以上、週1回以上)



通いの場 (月1回以上) の
主な活動内容

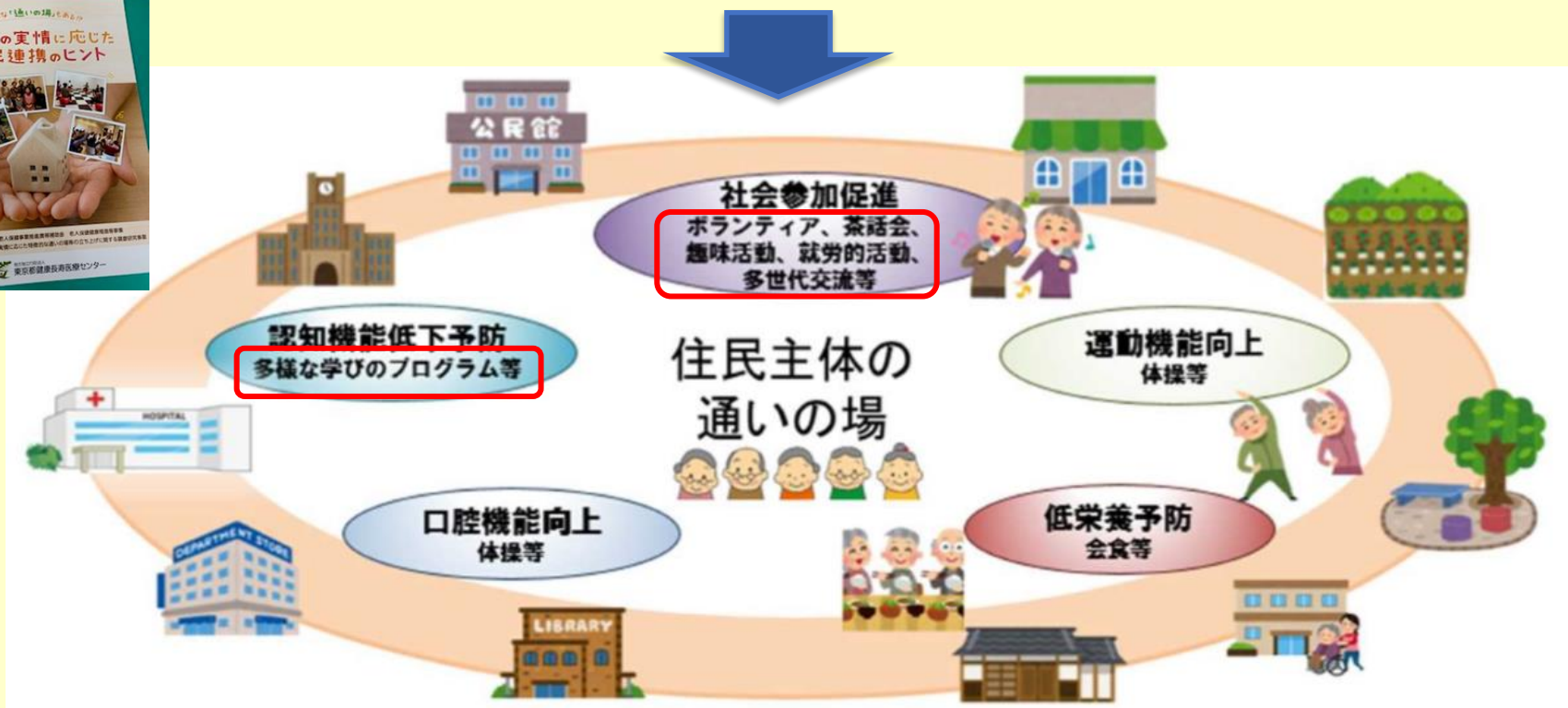


通いの場の活動内容に偏り

資料: 厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況(令和元年度実施分)に関する調査結果」に基づき東京都福祉保健局高齢社会対策部作成

介護予防に資する通いの場の取組

多様な住民のニーズにこたえるには・・・

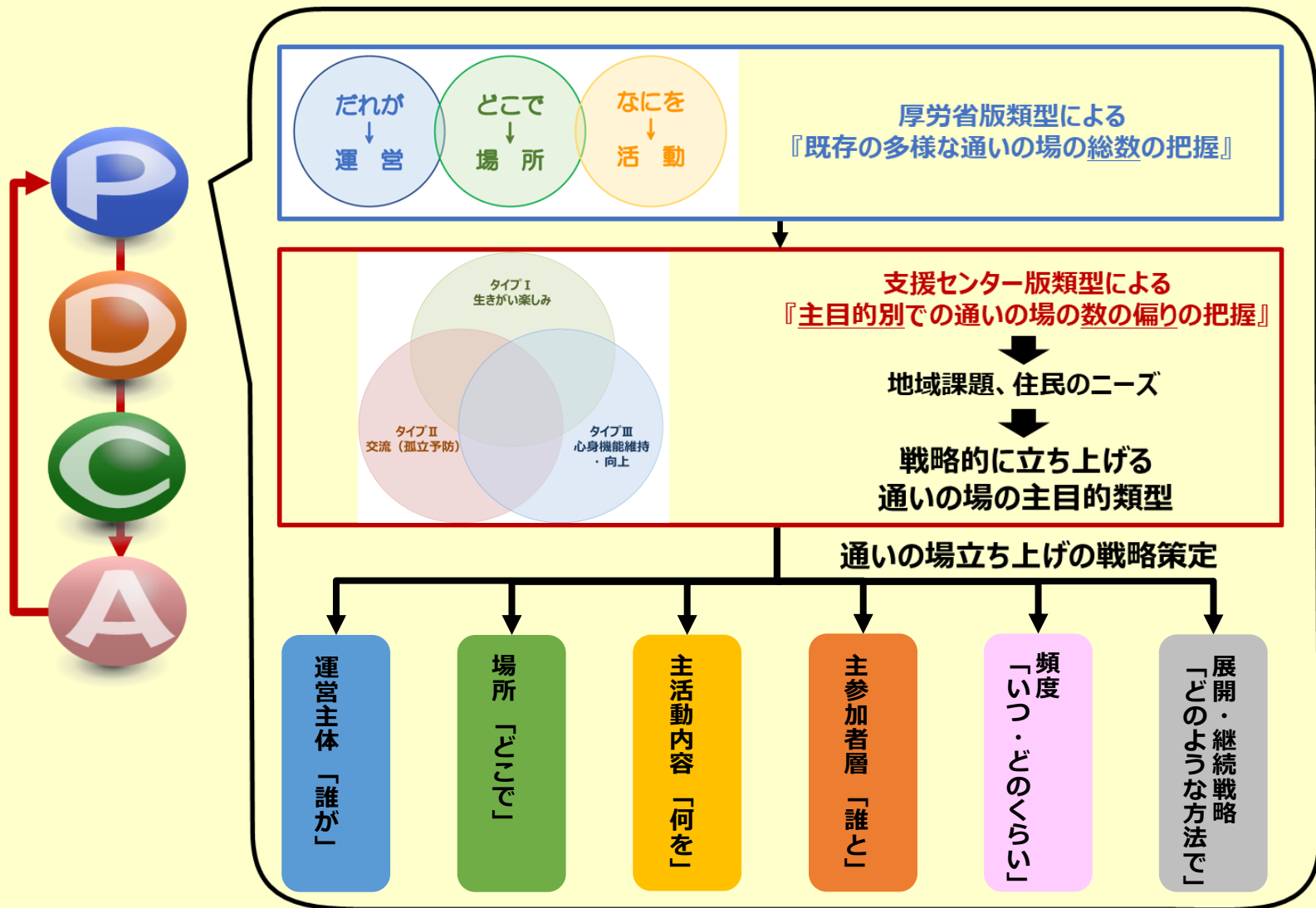


引用：厚生労働HP https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08408.html「一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会」取りまとめ



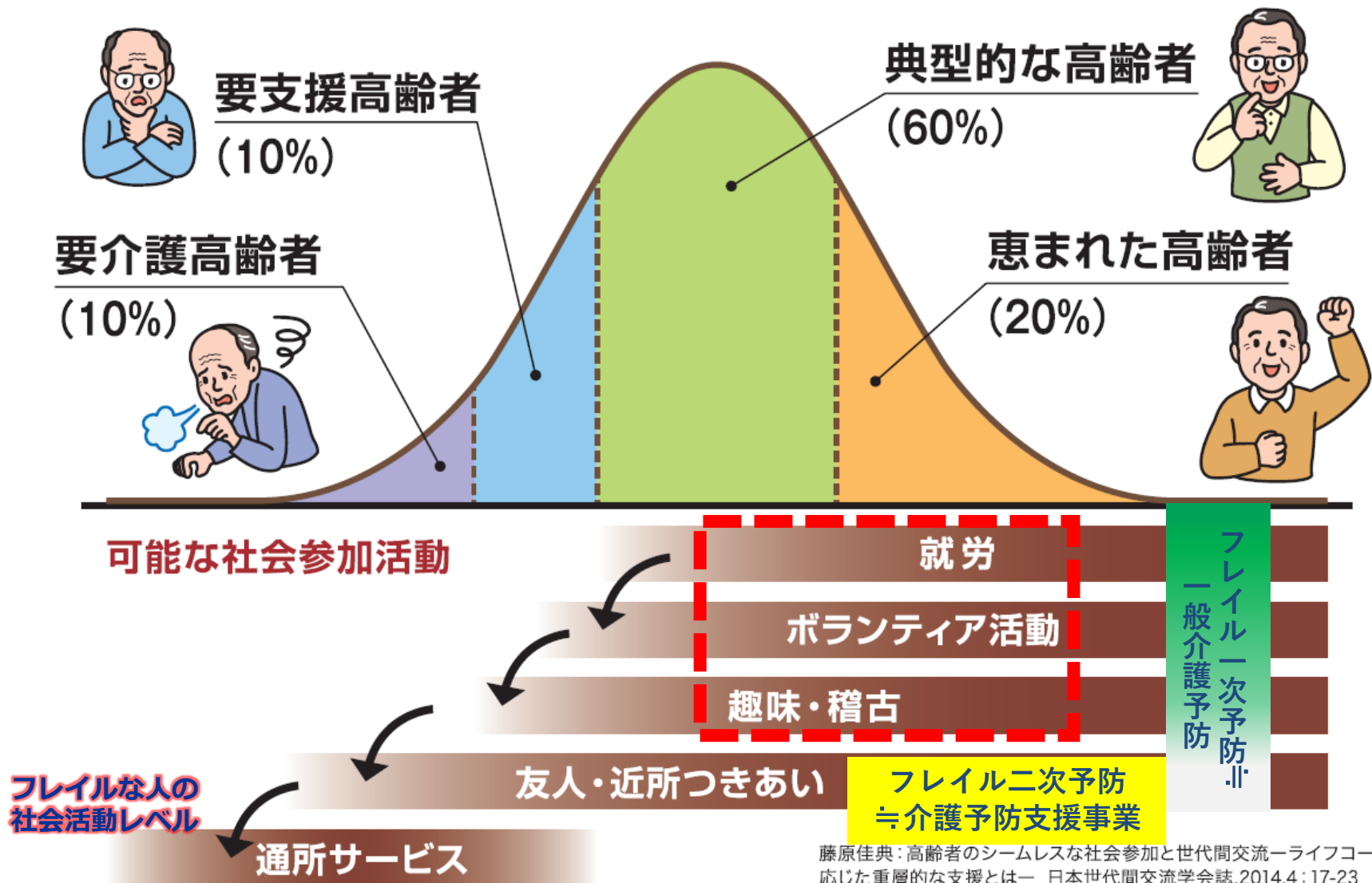
多様なステークホルダーと連携

「通いの場の類型」と立上げ戦略



通いの場の立ち上げや運営においては、自治体・住民の両者の視点からも、
目的に準じて、6つの要素を検討することが必要

ライフステージに応じた 社会活動と介護予防・フレイル予防



リハ職が支援する就労的活動のデイサービス(通いの場)

【福】 京都福祉サービス協
会が運営する西院老
人デイサービスセン
ターでは、70～90
歳の利用者が1日
に毎週日曜日、デ
イサービスに「出
勤」し、まな板づく
りに取り組む。紙やす
りで、ヒノキの板を
丁寧に削り、利用
者同士で、まな板
を完成させる。京
都市内の雑貨店に
販売され、利用者
は、お礼として地
元商店街の、金
券をもって商店街
に買い物に行くの
も楽しみの一
つだ。

介護が必要になっても
社会の一員として社会
とつながれる機会をつ
くりたかった。ブラン
ド名は「sitte(シッテ)」。

ものづくり

支援が必要になっても
できることはある



社会福祉法人京都福祉サービス協会
高齢者福祉施設 西院 HP等より引用

デイで「働き」やりがい 高齢者が有償ボランティア 厚労省の事務連絡追い風に

会員限定有料記事 毎日新聞 2018年11月2日 大阪朝刊

社会一般 > 介護・福祉 > ライフスタイル > めっちゃ関西 > ライフ >



まな板などに削りかける京都市西院老人
デイサービスセンターの利用者＝京都市
右京区で、野口由紀撮影

京都市西院老人デイサービスセンター（京都市右京区）で、高齢の利用者が有償で働くことを通じ、社会参加を目指す取り組みが始まった。

西院デイサービスの利用者は今年8月から、京都市中京区のセレクトショップ「mu mokuteki 京都店」で販売する木製のまな板とカッティングボードの製作の最終工程に携わっている。先月、施設を取材した

日には70代から90代の女性6人が「出勤簿」に押印して活動を開始。真剣な表情で木にやすりをかけ続ける。作業をした海老愛子さん（90）は「削っているうちに愛着がわく。作業に集中する間は腰の痛みも忘れる」と笑顔を見せた。



自験例



これからの多様な通いの場 クリエイティブハウスともつくF邸

<https://tomotsuku.jp/>

2021/7~
京都市・嵯峨野



京都市立芸大 プロダクトデザイン専攻3回生による

木工ワークショップ

～カッティングボード、カフェプレートを作る！～

¥500 ¥300

場所 コミュニケーションハウス F邸
(京都市右京区嵯峨野山崎町15-15 1515)

対象 誰でも！

所要時間 30分～1時間

持ち物 なし

11/2 (火)
・3 (水・祝)

毎日 10:00～15:00

好きなパーツを組み合わせて、模印を入れて、オリジナルのプレートを作ろう！
肉を炙めたり、炭火をのせて使えたりして仕上げれば、
ずっと使いたい自分だけのプレートになります。



京都市立芸術大学プロダクトデザイン専攻3回生による

ワークショップ

場所：F邸コミュニケーションカフェ
対象：誰でもどうぞ。

8/15
9:00～14:00

夏休み！

①シルクスクリーンでオリジナルバッグを作ろう
②サウンドモビールで音を楽しもう

参加費 ¥500

無料



就労的活動＋多世代＋アートの場合
⇒自己実現を支援するための
共生的予防